学校番号	3010

令和8年度　　美術　　科

教科	美術	科目	絵画	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	一冊でわかる美術史の基本（文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一斉授業
・個人制作
・完成までの取り組み・技法の理解を重視

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
造形的な表現形式の特性について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的な表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
西洋を中心とした美術と日本美術に関する基本的な考え方や絵画表現の多様さを理解するとともに、美術の意義や役割を踏まえた自己の絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	絵画表現におけるそれぞれの表現形式の特性について理解を深めるとともに，発想や構想をしたことなどを基に，専門的な技能として様々な表現方法や材料や用具などを工夫して独創的・創造的に表すことができる。 具体的には西洋を中心とした美術の体系と日本美術に関する基礎的な知識・技術を身に付け、古典にみられる自然観・美意識理解を深めている。	絵画表現におけるそれぞれの専門的な知識や技能などを活用し，創造的に発想し構想を練ったり，作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 具体的には絵画表現のスタイルの多様性を知り、表現の可能性や創造性を生かした独自性のある作品制作をめざしている。	学習を通して，主体的に表現し たり鑑賞したりし，絵画表現の可能性を追求する態度を養うことをことをめざしている。 具体的には制作を通して美術館や美術に関する書物への興味関心を高め、幅広い知識や技術を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	絵画の画材と技法	西洋絵画の画材と技法 ア　静物画 　／グリザイユ イ　風景画 　／構図 日本美術の画材と技法 ウ　静物画 　／顔彩 エ　古典模写 　／骨描き	a:西洋／日本絵画の表現形式の特性について理解し生かすことができる。 b:西洋／日本絵画に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c:進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
2	絵画の画材と技法	西洋絵画の画材と技法 オ　静物画 　／キャンバス カ　近代画法 　／筆触分割 日本美術の画材と技法 キ　静物画 　／水干絵具 ク　日本の伝統的絵画空間での制作／扇面　箔	a:西洋／日本絵画の表現形式の特性について理解し生かすことができる。 b:西洋／日本絵画に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c:進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
3	総合的な絵画表現	ケ　読書感想画 　／テーマと表現 コ　近代以降の絵画空間 　／場・平面化・色彩・その他の諸要素	a:西洋／日本絵画の表現形式の特性について理解し生かすことができる。 b:西洋／日本絵画に関する基礎的な理論を基盤にして与えられた課題に取り組んでいる。 c:進んで興味を持ったことについて調べ、新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	作品	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度